

明日の大地

北海道新篠津高等養護学校

学校だより

令和元年度 第2号 7月25日発行

Tel 0126-58-3280

HP <http://www.shinko.hokkaido-c.ed.jp/>

「ありがとう」は、幸せの始まり

副校長 佐伯正文

「新篠津高等養護学校の生徒の良いところは？」と聞かれたら、私は「元気な挨拶、すてきな笑顔、そして「ありがとう」と感謝の気持ちを言えるところです。」と、答えるでしょう。

私は、「ありがとう」の言葉が大好きで、大切にしています。生徒さんや保護者の皆様、地域の方々、職場の方々、家族など、たくさんの人に支えられ、元気をもらっています。できるだけその方の顔を見て、「ありがとうございます。」と、感謝の気持ちを伝えたいと思っています。

私の机には、一日ごとに一つの言葉が書かれた卓上カレンダーがあり、1日は「ありがとうは幸せの始まり。」と書かれ、14日には「ありがとうとごめんなさいは、自分が一番先に言いなさい。」と書かれています。いつも「いい言葉だな。」と思って読んでいます。

1学年の美術で「ありがとうの花束」が作られ、廊下に掲示されています。友だちや家族、先生など支えてくれる人たちやテレビやスマホなど身の周りの道具たち、太陽や土などの自然などいろいろな人や物へ「ありがとう」と感謝の気持ちが書かれ、花束になっています。

さて、皆さんは周りの人たちに「ありがとう」などのお礼の言葉が言えているでしょうか？ 家族にはどうでしょう。素直にお礼が言えているでしょうか？ 「そんなこと今更言わなくても、いつも思っている。」、「家族の間では、なんとなく照れくさい。」、「手伝ってくれて（やってくれて）当たり前。」などと、つつい思っている方もいるのではないのでしょうか。



いつも心に思っている「ありがとう」の言葉を口にしてみませんか。普段から言っている人は、いつも以上にすてきな笑顔を添えて。スマートフォンに向いている顔を上げて、相手の顔を見て、笑顔を添えて。きっと自分にも相手にも、「幸せの始まり。」となることでしょう。

夏休みには親戚など普段会えない人と顔を合わせる機会も増えることでしょう。一人でも多くの人に「ありがとう。」を伝えられるといいですね。

最後までお読みくださり、ありがとうございました。



各学年より

「社会見学～1年～」

1 学年担当：坂下 佳恵

はじめに、1 学年全員で『石狩湾新港発電所』を見学しました。この発電所は今年 2 月、LNG(液化天然ガス)を燃料とする火力発電所として営業運転を開始したばかりです。発電の仕組みをダイナミックに映し出す映像と音響、クイズを交えたスライドや本物に触れることができる展示物などから発電の仕組みを学ぶことができました。生徒達は、昨年の地震による停電の経験から電力の必要性を身近に感じていたこともあり、大変熱心に説明を聞いていました。その後は学級別研修となり、園芸科と家庭総合科は「近代美術館」、生産技術科は「青少年科学館」、窯業科は「白い恋人パーク」、木工科は「酪農と乳の歴史館」、クリーニング科は「札幌オリンピックミュージアム」へ出かけました。学級毎に、見学・昼食場所、行き方や交通手段、タイムスケジュールなどの計画を話し合い、立案して実行することを通して、学級の仲間との結束力も高まったと思います。



「宿泊研修～2年～」

2 学年 山田 勇 気

6 月 26～28 日、二泊三日の日程で宿泊研修に行ってきました。一日目は旭川市での学級別自主研修。事前学習で旭川市について調べ、NHK 放送局や科学館サイパル、旭川デザインセンターなどそれぞれの学科の特色を生かしながらか見学や体験をすることができました。二日目は大雪青少年交流の家から十勝岳の麓「望岳台」と「青い池」を目指すグループに分かれハイキング。想像以上の道のりに最初は興奮していたものの、徐々に疲れて言葉少なくなる生徒たち。それでも転んだ仲間を助けたり、くじけそうな仲間に声を掛けたりしな





がらみんな目的地まで歩き、無事に帰ってくることができました。その疲労感はきっと忘れることのできない経験になったのではないかと思います。最終日は上富良野町のトリックアート美術館を見学、バーベキューで締めくくりました。

「今の時代、望岳台がどんなところなのか、どんな登山道なのか、どんな植物が生息しているのかはインターネットで調べればすぐにわかります。でも歩いたときの岩肌の感触、空気、においなどは実際に登ってみないとわかりません。そんな体験

をここでしてもらおうことがむしろ今の時代は大切だと僕たちは思っています。」 宿泊先の大雪青少年交流の家の方からの最後の挨拶にこの宿泊研修のすべてが詰まっている気がします。

「見学旅行を終えて」

3 学年 麻 畑 佳代子



5月28日(火)から、3泊4日の日程で関西方面へ見学旅行に行きました。

初日は奈良公園や東大寺、2日目は京都の清水寺や金閣寺などを全員で見学し、3日目は事前に立てた計画に沿って、6つのグループに分かれて自主研修を行いました。

終日USJを満喫したグループは、絶叫系コースターや3D眼鏡を装着してライド型のアトラクションを体験したり、お土産選びに夢中になったりなどして楽しみました。USJでお目当てのアトラクションを楽しんだ後に、道頓堀で大阪グルメを味わい、梅田スカイビルからの絶景を堪能したグループもありました。神戸観光をメ

インにしたグループでは、カワサキワールドでモーターサイクルを見たり、ポートタワー周辺の散策や中華街で本場の中華を味わったりしました。また、大阪市内の観光をメインに計画したグループでは、神戸まで足を伸ばし、明石海峡大橋を見ながら砂浜を歩いたり、通天閣周辺で大阪の文化を感じたりなど、それぞれに思い出深い一日を過ごすことができましたようです。

見学旅行に際し、保護者の皆様には多くの御支援をいただきありがとうございました。卒業まで残りわずかとなりましたが、今後ともよろしく願いいたします。



「第10回 体育大会を終えて」

文化体育部 体育大会担当 古 東 貴美代

令和最初の体育大会は、強風のためテントが立てられなかったこと以外は、事故や怪我もなくスムーズに進行することができました。練習の成果を十分に発揮できた生徒、逆に思うような記録が出せず、悔しそうな表情の生徒等々様々でしたが、どの学年も一致団結し、とてもいい顔をして頑張っていました。また、学年ごとに、応援旗や応援グッズを使用した応援合戦で大変盛り上がっていました。閉会式では一喜一憂ありましたが、生徒の表情から、確実に各学年の団結力が高まったと感じました。今後の様々な行事にも、団結し全力で取り組んでくれることを期待します。保護者の皆様の応援が一番の力になったと思います。ご協力ご声援、本当にありがとうございました。



新高オープンスクール 2019

担当 三田村 祐 二

今年も本校のオープンスクールに大勢のご参加をいただき、ありがとうございました。

5月30日開催の第1期は作業学習体験の中学生が35名、学校説明会等の参加が85名で合計120名、6月27日の第2期は作業学習体験の中学生が37名、学校説明会等の参加が104名で合計141名でした。1期・2期合わせて261名もの御参加をいただきました。

本校の生徒にとっても、受付業務や、中学生に自分たちが取り組んでいる作業内容を教える経験などを通して、新しい引き出しが生まれたと考えております。御来校の皆様には、不十分な対応となってしまうところもあったかと思いますが、本校生徒の学習活動の一環としての取り組みですので、御理解いただけたら幸いです。



また、参加者アンケートから、申込書の書式や玄関外での誘導案内など、いくつかの改善のご意見をいただきました。次年度より早速取り組みたいと考えております。

今後、校外の皆様に向けた見学会として、今年度は9月26日(木)に「学校公開」が行われます。学習活動の見学と教育課程・進路指導・寄宿舎生活の説明会が行われる見通しです。詳細は時期が近付いたときにHPに案内を掲載します。よろしくお願いいたします。

～学校評議員会～

副校長 佐伯正文

今年度の学校評議員には、昨年度に引き続き今田様(新篠津村商工会会長)、上田様(北海道自閉症協会会長)と、新たに黒壁様(新篠津福祉会ふれあいの苑施設長)、磯貝様(北翔大学教授)、佐藤様(本校PTA会長)の5名の方々をお願いしています。

6月19日(水)に行われました第1回学校評議員会では、今年度の本校の取組を説明するとともに、授業を見学していただき、意見交換を行いました。

「おやじの会」グラウンド整備

おやじの会担当 坂口浩隆

6月9日(日)に「おやじの会」主催のグラウンド整備が行われました。当日は、快晴に恵まれ多くの保護者の方々が参加され、「体育大会」の成功を願って汗を流しました。

汗が引いた頃「やる気のジギスカン」で「体育大会」での活躍を願って大いに盛り上がり、楽しい雰囲気の中、終わることができました。

「茶話会」

茶話会担当 松山佳樹

5月24日(金)本校格技場で茶話会が開催されました。27名の保護者の皆様に参加していただきました。

初めは、緊張も見られましたが、学校、寄宿舎、各御家庭でのお子さんの様子を話し合う中で自然と打ち解け合い、とても明るい茶話会となりました。会の中で、学校や寄宿舎での新入生歓迎会の様子を放映しました。ふだんは見ることのできない生徒の活動の様子を見ていただき、会場はたくさんの笑顔にあふれていました。たくさんの御参加ありがとうございました。来年度も、多くの皆様に参加していただけることを願っています。



「春のしんしのつ会」

進路指導部 佐藤 隆夫

6月1日土曜日、今年度の卒後支援（招集支援）のスタートとなる「春のしんしのつ会」が卒業生94名、職員24名、計118名の参加で行われました。

午前中は、札幌ウィンターミュージアムでの見学・体験、午後からは、ウエスタン平岸店でバイキング（食べ飲み放題！）を楽しみました。

この春に卒業した24回生は同窓会初参加でしたので、はじめはやや緊張気味でしたがバイキングの頃にはおしゃべりとおかわりに夢中になり、エンジョイしている様子が伝わってきました。19～23回生は若いもんには負けじとおかわりを繰り返すこと90分、止まらぬ食欲に今年も驚かされました。

あっという間の同窓会でしたが、思う存分食べた焼き肉、お寿司、デザート、仲間や先生たちのおしゃべりなどお腹も心も満タンに充電することができたことと思います。明日からのそれぞれの生活の活力につながることを期待しています。また、夏の一泊旅行や冬のしんしのつ会で元気な姿が見られると嬉しいです。

～図書室より～

情報教育部 松本 紀子

昼休みの生徒達は、午後の授業準備をしたり着替えをしたりと、忙しく過ごしていることが多いです。それでも読書を楽しみにしている生徒は、少しの時間でも図書室に来て、リフレッシュしているように感じます。

今年の夏休み特別貸出期間中も、たくさんの生徒が本を借りてくれました。夏休みは長いようで意外とあっという間です。好きな本を読んで、2学期に向けて気分転換をしてくれたらいいなと思います。

こ ぞうだんしえん 子ども相談支援センター

ぞうだんまどぐち し 相談窓口のお知らせ

- いじめられている…
- 学校に行きたいのに行けない…
- 誰かに聞いてほしい…

そんな時に、相談できる窓口があります。

●電話相談

0120-3882-56 (無料、毎日24時間対応)

●メール相談

doken-sodan@hokkaido-c.ed.jp

※急ぎの場合は電話相談を利用してください。

編集後記

昨年は雨に泣いた1学期の行事でしたが、今年は好天に恵まれ、生徒も日焼け後の黒さが目立つ今日この頃です。そんな中先日行われたサッカーの大会では延長PK戦の末、全国大会への切符を手に入れました。もっともっといいニュースが聞ける夏休み、2学期になって欲しいです。